

練習日と場所	発行 関西紫金草合唱団 2018年10月12日(金) NO,312	連絡先
第2・第4金 18:30～	紫金草ニュース	団長 衣川洋一
ねむかホール(谷町6丁目)		090-4644-5365

「祖国」の練習始まる!

12日のレッスンは、10月27日に行なわれる川口真由美コンサートでの「紫金草物語」を中心に行なわれました。途中、紫金草合唱団にとっての新曲「祖国」の練習をしました。

休憩時間は、ハルビン公演に参加された方に感想を一言ずつお願いしました。



- ・方正(ほうまさ)では、中国人が日本人の墓を建ててくれた、横に養父母の墓もあった、感激した。
- ・虐殺は、点ではなく面でやっていたのがわかった。
- ・9・18の満州事変や731は勉強になった。ショックを受けた。
- ・チラシを見て参加された方が何人もいた。感心した。
- ・満州は一時日本が統治していた。ここでの大規模な合唱交流は大変大きな意義があったと思う。
- ・これからも交流して行きたい。などの感想が述べられました。

ハルビン公演 香港の大公網紙でも報道

首页 > 新闻 > 中国 > 正文

八旬日本兵架音乐桥: 永远不要战争

2018-10-09 03:17:32 大公报 作者: 于海江、焦红瑞

字号

点击排行



图: 日本紫金草合唱团访华在哈尔滨演出(大公报记者于海江摄)

6日,日本紫金草合唱团访华在哈尔滨演出。曾在1946年加入“东北民主联军”(后改编第四野战军第三八军)的日本老人藤后博已出演40余分钟,并表示:“用音乐这种形式做民间的交流是一个很好的沟通的桥梁。中日友好缔结40年,两国人民期盼和平,绝不想再发生战争,我们要不忘历史,面向未来。”

“再次来到第二故乡哈尔滨,心情非常复杂,每次来都要去参观侵华日军第七三一部队罪证陈列馆。”现年88岁的藤后博已说,“现在日本人对过去日本侵华的历史了解不多,通过自己的努力让他们了解那段悲惨的战争。”

盼赴港传唱和平

藤后博已介绍,十五岁时就来到中国东北,一年半之后在哈尔滨迎来了抗战的结束。到1946年春天,“东北民主联军”(之后的解放军)取代前苏联军队进驻哈尔滨。过了一段时间,解放军对留在中国的日本人发出邀请,希望他们能作为“担架员”参军来配合中国的解放战争。随后藤后博已跟随解放军过长城、渡长江、去过海南岛参加了中国的解放战争。

“留用日本人”中也包含了相当一部分护士与技术人员。据藤后老人回忆,当时共有八千到一万余的日本人留了下来,并参加了解放战争和之后的新中国建设。一直到回日本之前,“留用日本人”都受到了和中国士兵完全一样的待遇,并没有受到任何歧视。最后,藤后博已表示希望有机会到香港演出,把和平之声唱响世界。

相关内容

网友观点

0 条评论

文明上网理性发言,请遵守新闻评论服务规范

1. 大连淇源回应收清理翻田事件: E
2. 最高2400元/瓶控价形同虚设,
3. 影视明星为哈在霍尔果斯扎堆
4. 国际锐评|彭斯一讲话,中国所
5. 香港时隔5年重获中国城市综合
6. 侯友宜谈民调持续领先:担心E
7. 王三运受贿案一审开庭 当庭表
8. 土耳其曝光沙特“十五人暗杀小
9. 俄“联盟号”飞船发射后火箭发
10. 西藏江达突发山体滑坡 金沙江

衛都連合唱団

第13回 演奏会のお知らせ 平和な未来へ 旅のはじまり

日時 11月23日〔金・祝〕2時開演

場所 ドーンセンター〔天満橋〕

チケット 1500円

北酒場

その手の中に

旅のはじまり 他

申し込みは岡邑まで

当面の日程

10月26日(金)定例レッスン

10月27日(土)川口真由美コンサート

11月3日(土)総がかり集会 扇町公園

11月4日(日)合唱講座

旭区民センター

11月9日(金)定例レッスン

運営委員会

11月23日(金)衛都連合唱団コンサート

紫金草定例レッスン